

## 事業所向け 放課後等デイサービス自己評価表

公表日： 2019年12月25日

事業所名 つぼみ園

		チェック項目	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	適切とは思っていますが、必要とあればその都度改善していきます。
	②	職員の配置数は適切であるか	基本的に指導員一人に対して子供二人の配置はされていますが、必要があればその都度見直していきます。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	バリアフリー化の配置はされていますが、必要があればその都度見直していきます。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	月一回のミーティングの他に、毎日の振り返りや個別支援計画作成会議なども行っています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	ご意見を参考にして業務改善に努めます。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	事業所のホームページにて公開しています。

	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	ご意見を参考にして業務改善に努めます。
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	行動援護講習や法人開催の研修などに参加しています。
適切な支援の提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	半年に一度の面談や利用日のお迎えの時間にお話を聞き、計画作成に反映させています。
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	利用者様全員に同一のアセスメントシートの記入をお願いしています。
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	月に一度のミーティングで指導員全員がアイデアを出し合っています。
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	子供達が様々な経験を積めるようにいくつかの活動を準備し固定化しないように工夫しています。
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	平日と長期休暇ではプログラムの流れや内容を変えています。また季節を感じられる様な工夫もしています。
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	基本は集団活動ですが、その中で個人の特性や能力に応じ個別の目標を設定しています。

⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	支援開始前に必ず確認できるようにしています。
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	支援終了後には必ず、今日の振り返りと今後の支援について話し合う時間を設けています。
⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	日誌、個人ファイル、ヒヤリハットなどの記録をつけ検証、改善に努めています。
⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	半年に一度の面談で計画の達成度やニーズの変更を把握し、見直しを行っています。
⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	一日のプログラムの中で様々な経験や楽しい活動が出来るように組み立てています。
⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	児童発達支援管理責任者が参画しています。
㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	毎日の送迎時の申し送りの他、必要があればその都度連絡をさせていただいています。
㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	現在は医療的ケアが必要な児童はいないため連絡体制は整えてはいませんが、必要に応じて体制を作っていきます。

関係機関や保護者との連携 関係機関や保護者との連携	⑳	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	児童発達支援センターとの情報共有は密に行っています。地域の園との共有も行っています。
	㉑	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	次の事業所に移る際には担当者会議等を行いスムーズに移行できるようにしています。
	㉒	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	児童発達支援センターや障がい者支援センターとも連携をとっています。
	㉓	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	他の放課後等デイサービスとの交流を行っています。公園遊びの際、地域の子どもたちと交流する機会もあります。
	㉔	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	今後は参加していきたいと思います。
	㉕	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	利用日のお迎えの時にお話しする時間を設け日々の様子や成長などを保護者の方と共有しています。
	㉖	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	日々の申し送りや、面談の中で相談・助言等を行っていただけるように努力します。
	㉗	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	契約時に読み合わせをしながら丁寧に説明しています。

保護者への説明責任等

③①	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	相談があった時にはお話をよく聞き、必要に応じた助言や対応を行っていきます。
③②	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	二か月に一度の発表会の際に保護者の方に集まっていたく機会を作っています。
③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	苦情があった際には敏速に対応し早期に解決できるように努力しています。
③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	月に一度、園だよりを発行しています。
③⑤	個人情報に十分注意しているか	指導員全員に周知し、十分注意しています。
③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	写真カードやサインなど、その子の特性に応じたツールを使っています。保護者様とのコミュニケーションも積極的に行っています。
③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	今後行っていきたいと思います。
③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	マニュアルの周知を徹底し、ミーティングなどでも再度確認していきます。

非常時等の対応	③9	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	月に一度、避難訓練を行っています。
	④0	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	ミーティングや研修などで虐待についての知識向上の機会を設け、常に意識出来るようにします。
	④1	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	個別支援計画に記載し、ご説明・了承を得ています。
	④2	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	アレルギーの有無についてのアンケートを取り、対応方法について詳しくお聞きしています。
	④3	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	ヒヤリハット事例があった時には全指導員と情報共有しています。